

新しく連携室長となりました宮内です！よろしくお願いいたします！

地域医療連携室は、病院と他施設・他院、地域とをつなぐ役割があります。地域（ご自宅）で生活されている方が安心して生活できるためにも、身体面や心理面で困難な状況が発生した場合、医療の入り口として関わらせて頂き、必要な場所で必要な療養を選択できるお手伝いを致します。また、もし入院し療養するようなことがあっても、治療が終了したらスムーズに安心してご自宅の生活が再開できるよう調整させていただく部門になります。

患者様・ご家族様としっかりと話をさせて頂きながら、ご自身やご家族が納得した選択ができるよう支援致します。ご不安なこと、今後のことでご心配なことがあれば何でもご相談ください。

地域医療連携室に看護副部長が就任するという事は、地域の医療への貢献、地域との連携の強化、皆様に頼られる病院の組織の改革が求められていることと自覚しております。

医療機関の機能化が進むなかで、在宅療養支援病院として患者様、地域の皆さまに良質で効率的な医療を提供するべく、日々精進して参ります。



地域医療連携室長
兼 看護副部長
宮内 真奈美



関係医療機関や介護施設ならびに
入院・退院に関するご相談などお電話下さい
(繋がらない場合は下記代表電話へ)

TEL (096) 277-1701 直通
FAX (096) 277-1721

外来診療スケジュール

令和4年4月時点

診療科	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
整形外科	一般	山口浩司	山口浩司	山口浩司		小田	唐杉(熊本大学) (11時受付終了)	中島 (完全予約)	前田(熊本大学) (11時受付終了)	古閑 (熊本大学)	担当医 (熊本大学)
	ひざ専門 (完全予約)		中島 (16時～17時)	浦上 (11時受付終了)							
	関節・スポーツ	井上			井上	井上		井上		山口浩司	山口浩司 (完全予約)
	骨粗鬆症 (完全予約)							山口浩司 (第3木曜)			
内科	一般	篠原	本田	篠原	吉田	篠原	村端	篠原	吉田	本田	担当医
		吉田			村端		村端	村端			
		増田				増田					
糖尿病/代謝内科	篠原		篠原		篠原		篠原				
脳神経外科 ※完全予約						松元					
脳神経内科				村端			村端	村端	村端		
循環器内科				野澤原 (熊本大学)						担当医 (熊本大学)	
泌尿器科 ※完全予約							石井				
皮膚科 ※完全予約				山下 (16時受付終了)	山下			山下 (16時受付終了)			
麻酔科	柳下・小野田		柳下・小野田	※手術	※手術	※手術			柳下・小野田	※手術	
訪問診療		吉田			吉田		吉田				

【診察予約について】

網掛けのある診療科では予約制となります。

診察予約は電話でも行っています。希望する診療科診察日の前日までにご連絡をお願いします（当日予約は出来ません）。予約状況によっては希望する日に診察予約が出来ない場合がありますので、予めご了承下さい。

にしくままだより

～ MENU ～

- ◆ 新任医師ご挨拶 ◆
- ◆ 地域リハICTの取組み ◆
- ◆ 治験CRC賞2021受賞 ◆
- ◆ 新健診センター移設 ◆
- ◆ 連携室長ご挨拶 ◆



Fly to the future !

新年度が始まった4月1日、当院でも久しぶりに対面式の入社式を行いました。長引くコロナ禍と緊迫する東欧情勢が世界を覆う中で迎えた門出、希望と緊張が入り交じったフレッシュな顔触れが揃ってスタートを切りました。研修委員会主催の丸二日間かけた新入職員オリエンテーションで、医療人としての心構えやグループワークなどのプログラムを終えたあと、なんとか落花を持ちこたえてくれた中庭の桜の前で集合写真をパチリ！皆様、新しい仲間達をよろしくお願いいたします！

～～ 新任のご挨拶 ～～

～ 4月より3名の医師が着任しました 皆さまよろしくお祈りします～



整形外科医
井上 篤

昭和63年に宮崎の大学に入学して以来34年ぶりに熊本に帰ってきました。これまでは主に宮崎県内で関節外科、スポーツ整形外科を中心に診療をおこなってきました。なかでも関節内視鏡手術を専門に行っております。関節鏡手術は切開せずに小さな創を数箇所つuckingて行います。低侵襲でかつ詳細な診断のもと、的確な修復がおこなえるという利点があります。直視下手術に比べて低侵襲なため術後の痛みが軽減され早期退院、職場復帰、スポーツ復帰も可能となります。

これまで宮崎県では行われていなかった肩関節の関節鏡手術を平成15年より開始し数多くおこなってきました。肩腱板断裂、肩関節脱臼、関節唇損傷、関節拘縮等が対象になります。また、膝関節にも関節鏡治療をおこない適切な診断・検査・手術・リハビリテーションによって高い満足感を得ることができます。前十字靭帯損傷に対する靭帯再建手術や半月板損傷の縫合手術等が可能です。これまでの経験、知識を活かし地域の皆様に最良の医療を提供できるように取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈り致します。

この度、にしくまもと病院に赴任しました小野田昌弘です。前職は熊本大学付属病院麻酔科で主に手術麻酔を行ってきましたが、今回手術麻酔に加えペインクリニックを柳下先生のもと学んでいきたいと思ひます。

手術麻酔では患者様の様々な合併症（高血圧、糖尿病、高脂血症、気管支喘息、狭心症など）に対して、心電図、肺機能、胸部レントゲン、心エコー検査などでしっかり術前診察で評価し、問題があれば各診療科のバックアップ体制のもと安全に手術が行える麻酔を行っています。

今までは術後鎮痛に硬膜外麻酔（背中の注射）が主でしたが、術後血栓症予防の抗血栓療法の影響で行いにくくなり、その代わりに大腿神経神経ブロック+関節内カクテル注射+持続静脈点滴で良好な術後鎮痛が得られています。さらに超音波ガイド下神経ブロックの併用により術後鎮痛の質の向上も可能になりました。

ここにしくまもと病院で患者様が安心して安全な手術・ペインクリニック診療を受けることができるように今まで以上に努力したいと思ひます。



麻酔科医
小野田 昌弘

4月からにしくまもと病院で働かせて頂くことになりました村端 秀映（むらはし しゅうえい）と申します。専門は脳神経内科となります。以前は熊本大学病院、熊本再春荘病院、熊本労災病院にて勤務しておりました。

脳神経内科領域は脳梗塞、髄膜炎・脳炎といった急性期疾患からパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症といった変性疾患まで多様な病態があります。また、頭痛やめまい、ふるえといったcommonな病態まで鑑別と加療が可能な診療科となります。「手足のしびれ」「手足に力が入らない」「歩きにくい」「しゃべりにくい」「飲み込みにくい」「ものが二重に見える」「ふらつき」「めまい」「ひきつけ」「頭痛」「手のふるえ」「もの忘れ」「意識の状態が悪い」といった症状がある場合には当科にて専門的診断を行わせて頂きます。

病診連携も取りつつ患者さん・ご家族含めて最適な医療を提供できるように急性期から神経変性疾患まで幅広く対応させていただきますのでお気軽にご相談ください。



脳神経内科医
村端 秀映



地域リハビリ広域支援センター ICT の取組み

熊本市から協力依頼があり、『令和3年度 老人保健健康増進等事業 インターネットやスマートフォン等の ICT を活用した修正自立に係る調査研究事業』の実証調査を、地域リハビリテーション広域支援センターで実施しました。

高齢者の介護予防・生活支援におけるインターネット利用が、どのようにすれば推進・普及していくのか検証をするため、富合町在住の8名の方に参加して頂き、LINEを活用した情報発信とZoomを使用した「オンライン通いの場」を週1回実施しました。

初回は上手く繋がらなかった方もいらっしやいましたが、最終回には皆さん接続できるようになり、オンライン上での会話や交流・体操等を楽しんで頂きました。

ICTを活用した取組みの新たな可能性を感じる事ができた貴重な経験となりました。

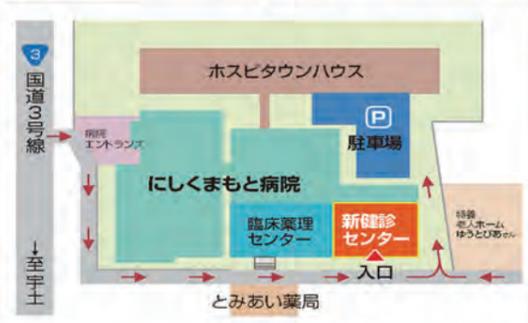
臨床薬理センター治験コーディネーターがCRC Award 2021を受賞

にしくまもと病院臨床薬理センターでは「治験」を専門に行っており、数多くの新薬開発に携わっています。最近では、新型コロナウイルスワクチンを初め、様々なワクチン試験を実施しております。

ワクチン開発は、昨今のパンデミック発生時には特に注目されましたが、医薬品開発において重要な位置づけになっています。そんな治験の業務を行う医療従事者のことを治験コーディネーター（CRC）といい、薬剤師や臨床検査技師、看護師などがその役割を担っております。

にしくまもと病院の治験コーディネーターである作馬有紀は、ワクチン試験の担当者として製薬会社から依頼された治験業務を円滑に進めるために、治験参加者（被験者）と院内スタッフの間に立ち調整を行っています。その貢献が認められ、MSD株式会社が選出する年間で最も質の良い治験業務を行った者に送られるCRC Award 2021年を受賞することができました。

今後も質のよい治験が進められるよう臨床薬理センター全員で取り組んで参ります。



4月健診センター リニューアルオープン！

昨年よりリニューアル工事を行っていた健診センターが、場所も東側に移動しこの4月オープンしました。

ここ数年は健康診断のニーズが増え、一部のコースなどは予約で埋まってしまい、ご依頼をお断りするケースも多くなっておりました。また、このコロナ禍においては、密になることを避ける必要もあつた為、スペースも余裕をもって拡張し、受診者の皆様にゆったりと安心して健康診断を行える施設にしております。

健診スタッフ一同、地域より信頼される健診センターを作っていく所存です。皆様、よろしくお祈りします。

健康診断の
相談・申込みは 直通 096-357-0435 (FAX 兼)